

最終更新日	2011年(平成23年) 4月27日
-------	--------------------

校番 4	福山市立 霞小 学校
------	------------

1 学校教育目標

学ぶ喜びあふれ、お互いの成長を喜び 子どもの育成  
めざす子ども像 「かしこく つよく うつくしく」

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命(ミッション)

伝統的に積み上げられてきた「賢く 強く 美しく」の校訓に示されたよき校風・落ち着いた学び環境を継承・発展させる。そして、児童は「学校へ行くのが大好き。」保護者は「霞小学校に行かせてよかった。」地域の方は「夢と希望があり、霞小学校を誇りに思う。」と言われる成長する学校をつくる。

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

- 1 信頼される学校
  - 児童理解を基本とした温かい心の通った教育を実践している。(確かな授業・学級づくり・生徒指導の実践。)そして、知・徳・体のいずれにおいても全国に通用する教育を行っている。
- 2 開かれた学校
  - 情報公開・発信・交流によって、家庭・地域と心の絆を大切にした連携協力を進めている。
- 3 人材の育つ学校
  - 社会人・組織人・教育公務員としての資質・能力の向上に常に意欲を持ち、研修し自らを磨いている。

3 自校の現状分析

1 【知・徳・体の児童の実態】 ・基礎基本定着状況調査(県比較)

国語	+4.9
算数	+6.3

国語・「聞くこと」(話の要点)「書くこと」(情景や心情を読み取る、条件付きで書く)、算数「図形」(平面図形、直角三角形の作図)「量と測定」(面積の単位、重さの比較、量感覚)の領域は課題がある。意識調査では、「発表やスピーチすることが好き」「日記や作文を書くことが好き」の数値が低い。⇒一定の成果が出ているが、学年によってばらつきがある。「授業改善プログラム」に沿って基礎基本の習得、言語活動の充実による思考力の向上を図る授業研究・実践が大切である。

ネーム・帽子・白い靴に気をつけている	96%	人の失敗を笑っていない	89%
きまりを守る努力をしている	96%	友だちを大切にする(お礼・謝罪・悪口を言わない)	95%
あいさつを進んでいる	89%	掃除を進んでいる	91%

⇒規範意識・人間関係・社会性の育成が向上してきた。継続していくことが大切である。

- ・体力診断尺具比較 64/96 項目 ⇒改善してきているが、低学年に課題が集中している。課題であった握力は改善したが、上体起こし・反復横跳び・立ち幅跳びの課題に対して継続した取組をしている。
- ・生活アンケートでは、「10時以降に寝ている」39% 「7時以降に起きている」22%で、「早寝早起き」の習慣について課題が継続している。・テレビやテレビゲーム2時間以上27%、家庭学習目標達成73% ⇒取組の工夫・改善が求められる。

2 【学校評価保護者アンケートから】

学校の教育方針・成果や課題の理解	93%	服装など学校のきまりや社会のルール守るようにさせている	98%
知・徳・体の評価	94%	朝ごはんを食べさせるようにしている	99%
教職員指導力の評価	97%	人を傷つける言動を注意し、思いやりの心を育てている	98%
子どもとの対話を大切にしている	99%	あいさつをするように日ごろから言っている	97%

⇒学校に対する肯定的評価は平均94.5%と高い評価を得ている。また、家庭の教育力があり協力的な保護者が多い。一方項目の中で、比較的评价が低い項目

学校は、保護者や地域の願いを受け止めている	88%	テレビやゲームを長時間させないようにしている	86%
家庭への連絡を積極的に行っている	91%	家庭学習の習慣をつけている	87%
家庭で、早寝早起きをさせるようにしている	89%	家庭で、本を読むように声をかけている	82%

⇒学校と家庭の連携の重要性・協調した取組みが引き続き課題である。

3 【学校評価児童アンケートから】(評価点が低い課題から)

目標を持って生活	89%	国語は楽しい	86%	先生に気軽に相談できる	84%
文を書くことが好き	71%	算数は楽しい	82%	先生は気持ちを分かってくれる	85%
発表やスピーチ好き	75%	道徳は楽しい	84%	励ましたり褒めたりしてもらえる	86%

⇒先生と児童の心のつながりについて、ふり返り、児童理解に努めるとともに、授業の中で意欲を高める評価や指導の工夫改善が必要であることが課題である。

4 研究主題

(1) 研究主題

自ら考え、生き生きと活動する子どもをめざして  
—協同的な学びがあり、思考力を育成する授業の創造—

(2) 研究指定

指 定	事 業 名 等	期 間
福山市	教育研究支援事業 (算数科)	2010(平成22)年度～ 2012(平成24)年度

5 今年度の重点目標と設定理由

重点目標	設定理由
・協同的学びを通して、「学習意欲を高める授業」と「活用による思考力・表現力を育成する授業づくり」を進めていく。	・小学校教育の目標であり、確かな学力の取り組みは、学校課題である。授業力を高める職員の資質向上は、極めて重要である。 ・自己評価、相互評価を行うことを通して、学習意欲を高めると共に学習の定着を図る。
・一人一人の児童の言動・表情に気を配り、児童の思いを受けとめた心に響く生徒指導や学級づくり、授業づくりを行っていく。	・全ての児童にとって、学校が楽しく安心して過ごせる場所となることが、学校課題である。
・学校より情報発信を行い、学校教育の成果や課題を共有して、保護者・地域の理解と協力を得る。	・家庭学習・寝る・起きる・テレビやゲーム・読書習慣・食・あいさつなどの課題に関する取組みについては、共通した理解と協力が必要である。 ・鷹取中校区が連携して、「家での5つのめあて」の取組を進める。

6 評価基準

評価・指標評価	基 準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

・自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点目標	年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	( ) 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み ◇成果と取組み に着目)	( ) 指標評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期)経営目標 の達成状況 ◎ 改善方針
確かな学力	2	基礎的・基本的な知識・技能を習得している。		継続	国語(読解力・漢字)・算数(知識理解・技能)80点以上の児童が低学年85%高学年75%以上である。 (「学年末 評価テスト」国・算数総合学力C 評価全校7%以内)	B	◇国語(読解力・漢字)・算数(知識理解・技能)テスト80点以上(学期ごと) ▽ドリルタイム・家庭学習で、漢字・計算練習を実施する。 ・家庭学習の意識・内容の充実を図り、1年生30分~6年生80分達成率75%以上 ・毎月末20問テストを100点合格まで実施する。 ▽授業改善シートを活用した授業 ・授業改善サイクルを回す指導案を、低・中・高学年別に作成する。 ・改善計画の確実な実施	b	○国語80点以上の児童・低学年75%(達成率88%)高学年68%(達成率91%) 算数80点以上の児童・低学年81%(達成率95%)高学年74%(達成率99%) 基礎基本の習得:一学期末(達成率の平均93%) ◎キーワードに印をつけて要点のとらえ方の指導やプリントによるドリル学習を繰り返す □ドリルタイム・家庭学習で漢字・計算練習、20問テスト100点まで100%実施 ・家庭学習状況調査81%(達成率106%) ◎つまずきの克服に向けての課題提示や、学習内容をつなげるような家庭学習を提示する。 学年通信や、懇談会などで家庭との連携を引き続き行い、家庭学習の定着を図る。 ◎評価問題を実施し、誤答分析を行い、授業改善、補充学習に取り組む。 ◎各学年、指導案及び改善計画を作成し、実施している。
	1	活用による思考力・表現力が育成されている。	★	見直し	結論先行・ナンバリングを用い、根拠を明らかにして、分かりやすく話したり書いたりする児童が80%以上である。	B	◇ことばの年間計画に基づいて、話し方・書き方の指導をする。 (教師アンケート) 児童は、「話すことができる」85% 「書くことができる」75%	b	□ことばタイムを中心に、話し方・書き方の指導をした。 ・「話すことができる」71%(達成率84%) ・「書くことができる」57%(達成率76%) (平均達成率80%) ◎国語科・算数科の時間・日記指導・作文指導などで、めあてを持って書く指導を継続していく。 ◎授業等で、結論先行・根拠を明らかにして話すこと等の指導を継続する。
				新規	授業等において、協同的学びを推進する。 項目達成率100%	A	◇授業の中で表現交流(伝え合う)活動を大切に、児童の意欲や自己肯定感・ことばの力を高める。 教師アンケート 「授業等で、伝え合う活動を行っている」70%以上	a	□「授業等で、伝え合う活動を行っている」86%(達成率123%) ◎「伝え合うことば」のモデルに沿って発言できるよう指導を継続していく。 ◎協同的な学びの取組みを提示し、それに沿って指導を継続していく。
豊かな心	2	温かい心の通った人間関係力が育っている。		継続	時と場に応じたあいさつや、人の気持ちを考えた発言や態度ができる子を育てる。 平均92%以上	A	▽児童の様子をしっかりとつかみながら児童の人間関係づくりを促進する。 (学級遊びを毎週1回・先生も参加する学級レクを毎月1回行う。)	a	□○・学級遊び127%。・学級レク193% (平均達成率160%) ◎学級の活動の中にきちんと位置づけていく。学級遊びや学級レクを通して、児童と児童、担任と児童の人間関係作り、学級集団作りを行っていく。
					◇進んであいさつができる子、人の失敗を笑ったり、悪口を言ったりしない子、「ごめんなさい」・「ありがとう」「だいじょうぶだよ」が言えるよう、日常的指導・学級会・道徳・地域の方との交流による指導を行う。 (児童アンケート) 平均92%		a	□○・「すすんで挨拶できる」91% ・「人の失敗を笑っていない」91% ・「友だちを大切にしている」94% 平均92% (達成率100%) ◎クラスで「すすんで挨拶をする」をもっとよびかけていく。児童会のあいさつ運動・委員会のあいさつ運動を徹底させるなどして、学校全体であいさつ運動を活発に行っていく。 ◎日々の生活の中で、人の失敗や間違いを笑わない指導、温かい心を育てる取り組みを継続していく。	
	1	霞小の伝統のよさが継承され発展している。 (自尊感情・自主性が高まっている。)		新規	霞小の自慢を伸ばし推進する。(そうじ・読書・歌声・図画)4項目の達成率の平均100%	B	◇縦割り掃除を6月10月1月に実施する。掃除指導を全職員で継続する。 (職員・児童アンケート) 各92%	a	□○「そうじを進んでいる」児童94%、職員92% 平均93%(達成率102%) ◎2学期は「時間に遅れない、しゃべらずそうじする」2つのめあてを決め、児童はめあてを意識しながら掃除をしている。
					◇読書月間、職員による読み聞かせ、委員会の呼びかけを行い、読書活動の充実を図る。また、保護者に対して読書月間に係る呼びかけや学校の取組みについて情報を発信する。【年間目標冊数 低45冊(32冊)・中35冊(25冊)・高25冊(18冊)】※( )は10月末までの目標冊数		b	□○図書年間冊数達成率(10月末の達成率) 低学年86%(89%) 中学年71%(87%) 高学年49%(65%) 平均年間達成率68%(10月末達成率80.3%) ◎読書量が少ない児童に対する取り組みを行っている。(担任の声掛け・1組と2組のクラスの本の入れ替え・児童が読みやすい本を教室に置くなど)	
						◇「合唱が楽しい」と感じる子が一人でも増える日常的な取り組みを進める。 (児童アンケート) 88%	a	□○「合唱が楽しい」と感じる児童89%(達成率101%) ◎音楽朝会や全校音楽で、高音低音での響き合いを聴かせる、職員が歌って聞かせる、発声や表情作り、姿勢、歌詞読みや外部講師の招聘などを取り入れていく。	
						▽職員が指導力を高め、図画の作品展に全校で3点出品する。(2学期末2点)	a	○図画の作品展に全校で2点出品した。今後3点目は1月に出品予定。(達成率100%)	

健やかな体	1	たくましく生きるための健康・体力づくりができています。	見直し	積極的にスポーツに親しむ習慣をつけ、意欲、能力を高める。 項目達成率100%	B	◇外遊びの運動を継続奨励し、週2回大休憩に体力づくりタイムを実施する。 (児童アンケート)「日常的にスポーツに取り組んでいる」89% 「スポーツが好き」92%、 体力診断所県平均以上 68%	b	□○週2回大休憩の体力づくりタイムの実施 (達成率83%) □○「日常的にスポーツに取り組んでいる」82% (達成率92%) ○「スポーツが好き」91% (達成率99%) ○体力診断テスト県平均以上 64.6% (達成率95%) ◎体育の7分間セット運動・大休憩サーキット・ステップアップカードの活用など、12月再テストにむけて、取り組んでいく。
			新規	健康的な生活習慣を身につけさせるために、意識・態度を高める。 項目達成率100%	B	◇早ね・早起き・朝ご飯・テレビやテレビゲーム・歯みがき・給食の残菜について意識・実態調査を行い、指導する。また、保護者の協力を求める。 (児童アンケート)「10時までに寝る」65% 「7時までに起きる」80% 「テレビやテレビゲーム2時間未満」75% 「トークデーの実施率」75% 「朝ご飯」94% 残菜 市平均 虫歯治療率80%	b	○□早ね <u>低9時, 中9時30分, 高10時まで</u> に寝る 68% (達成率105%) ○□早起き <u>7時までに起きる</u> 87% (達成率109%) ○□テレビやテレビゲーム 2時間未満 77% (達成率103%) ○□トークデーの実施率 65% (達成率86%) ○□朝ご飯 95% (達成率101%) ○□虫歯治療率 76% (達成率95%) ◎通信や懇談会などで家庭としっかり連携していく。 ○□食育 1学期の残菜調査では、 喫食率が →主食91.8% (学校目標98.5%) (達成率93%) →副食97.4% (学校目標90.1%) (達成率108%) ◎食に対する感謝の気持ちや食文化・マナーの指導を充実させる。11月に残菜調査を行う。
力量める教職員	1	学校運営にそれぞれの立場で責任を持って参画することができる。	★見直し	児童理解を基本とした生徒指導・高まりあう授業づくり・学級づくりができる。 3項目の平均90%以上	B	◇「力がつき、やる気の出る楽しい授業」を実践する。 (教師アンケート)「5・7・10・1月9領域21項目」90% (児童アンケート)「5・7・10・1月15項目」90%	b	□「力がつき、やる気の出る楽しい授業」の実践に取り組んでいる。 教師アンケート85.4%、児童アンケート85.8% (教師・児童平均85.6%) (達成率94.5%) ◎子どもに身につけさせたい 霞小「基礎・基本のチ・カ・ラ」の指導を徹底していく。
					B	◇児童の言動を見る・聴くことをベースに指導と評価を継続する。 ・児童アンケート「学校が楽しい」「先生に気軽に相談できます」「先生は自分たちの気持ちを分かってくれています」「先生に友達や自分のしていることや考えなど励ましたりほめたりしてもらえる」 (児童アンケートの平均90%)	b	□児童の言動を見る・聴くことをベースに指導と評価を継続する。 「学校が楽しい」90% 「先生に気軽に相談できます」84% 「先生は自分たちの気持ちを分かってくれています」92% 「先生に友達や自分のしていることや考えなど励ましたりほめたりしてもらえる」81% (4項目平均86.8%) (達成率96.4%) ◎児童理解を基本とした生徒指導・授業づくり・学級づくりを引き続き進めていく。
					A	◇全教職員が、児童にめあてを持たせた学校生活に取り組ませる。 (教師・児童アンケート) 平均92%	a	□全教職員が、児童にめあてを持たせた学校生活に取り組ませる。 教師アンケート100%、児童アンケート90% (教師・児童平均95%) (達成率103%) ◎めあてを意識させた取り組みを継続する。 ○3項目の平均89.1% (達成率99.0%)
信頼される学校	1	学校は、保護者・地域との豊かなかわりができ、信頼をえている。	★見直し	報告・連絡・相談の徹底と協働意識で組織的に教育にあたる。 教師平均90%以上	A	◇7・10・1月に教師アンケートを行い、意識を持った取り組みとさせる。 「学校経営方針と自己申告書を連鎖させている」 「報告・連絡・相談の徹底と素早い対応をしている」 「自分の分掌の仕事において、改善を主体的に行っている」	a	□「学校経営方針と自己申告書を連鎖させている」100% 「報告・連絡・相談の徹底と素早い対応をしている」96% 「自分の分掌の仕事において、改善を主体的に行っている」90% ○平均95.3% (達成率105.9%) ◎組織的・協動的な取り組みとするために、報告・連絡・相談をより徹底していく。
					B	◇各校務分掌から、積極的に たよりを発行する。 (保護者アンケート)「教育方針が分かる」、「成果課題が分かる」、「学校は、保護者や地域の願いを受け止め、聴き入れている」 「先生は児童を理解している」 平均93%	b	□分掌からたよりを発行した。(読書だより、かすみんだより、学習評価だよりなど) 「教育方針が分かる」89% 「成果・課題が分かる」86% 「学校は、保護者や地域の願いを受け止め、聴き入れている」90% 「先生は児童を理解している」88% ○4項目の平均 7月 88.3% (達成率94.9%) ◎校務分掌担当から学校の取り組み・子どもの様子がわかるたよりを発行していく。
					B	▽「ふくやまスタンダード」の指標や「鷹取中学校区 家での5つのめあて」に沿って、学年だよりで取り組みや状況を伝えたり、学級懇談会で話し合ったりするなど家庭との連携を進める。	a	□「家での5つのめあて」について、指標を保護者に伝え、学校便り・学年だよりなどで取り組みを伝えたり、学級懇談会で話し合ったりして、連携を深めている。 ◎鷹取中学校区の教育懇談会を受けて、生活習慣の定着を保護者に積極的に啓発していく。 ○保護者アンケート7月総合90% (達成率96.8%)、地域アンケート11月実施予定
新規	B	職員は、教育公務員として自覚と使命感を高め、職務を遂行している。(保護者アンケート3項目平均95%以上)	B	△7・1月に保護者アンケートを行い、改善していく。 「先生は、マナーやルールを守り、子どもの手本となっている」93% 「先生は、子どもの間違った行動は、厳しく指導してくれている」92% 「先生は、子どもの成長を評価し、伸ばしてくれている」89%	b	□7月に保護者アンケートを行い、改善に向けた取り組みを進めている。 「先生は、マナーやルールを守り、子どもの手本となっている」93% 「先生は、子どもの間違った行動は、厳しく指導してくれている」92% 「先生は、子どもの成長を評価し、伸ばしてくれている」89% ○3項目の平均91.3% (達成率96.1%) ◎子どもへの学習指導や生活指導について定着するまで繰り返し指導を徹底していく。		

(管理規則第3条実施要領 別紙様式)